

全セグメントが増収達成 期初予想を上回る利益を確保

売上高

699億
7千4百万円
(前年同期比 +6.4%)

営業利益

32億
1千1百万円
(前年同期比 -19.3%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

21億
2千2百万円
(前年同期比 -15.1%)

1株当たり中間配当金

15円

総資産

1,094億
6千4百万円

純資産
(自己資本比率)

755億
6千4百万円
(67.0%)

1株当たり配当金

グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実に向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元に努めます。
1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしています。
(2017年3月期 期末配当予想)1株当たり25円(年間配当は1株当たり40円)

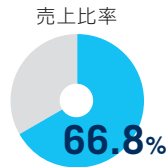
2017年3月期 業績予想

売上高 …………… 1,394億円
(前年同期比+2.3%)

営業利益 …………… 52億円
(前年同期比+28.5%)

地上波放送事業

■売上高	554億9百万円 (前年同期比+6.8%)
■営業利益	31億1千1百万円 (前年同期比+29.2%)



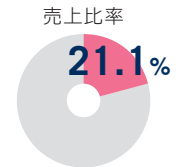
放送収入のうち番組を提供するタイム収入は、リオデジャネイロオリンピックによる売り上げ増のほか、期を通じてゴールデン帯タイムの大型特番や週末の営業企画が好調に推移したことにより増収となりました。番組の間に流れるスポット収入も、販促企画によるシェアアップなどにより増収となりました。

ソフトライツ収入は、「Amazon」と連動したドラマの配信権利が大きく貢献したほか、深夜ドラマを中心とした過去作品の配信事業も大きく伸びました。さらに、人気シリーズ『孤独のグルメ』の販売がアジア圏で多数成立しました。アニメ事業では、国内において『妖怪ウォッチ』の商品化が減少したものの、海外において『NARUTO』『BLEACH』などが好調でした。

【連結子会社】(株)テレビ東京

放送周辺事業

■売上高	174億6千7百万円 (前年同期比+3.7%)
■営業利益	13億2百万円 (前年同期比+6.6%)



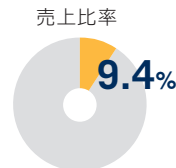
音楽出版関連は『おそ松さん』をはじめとするアニメ楽曲の印税収入に加えて、井上苑子のほか原盤出資アーティストの関連売り上げも堅調でした。

CS放送関連では、アニメ専門チャンネル『AT-X』は加入者数の横ばいが続いたものの、自社プロデュースのアイドルユニット『A応P』（アニメ“勝手に”応援プロジェクト）の『おそ松さん』関連楽曲や投資作品が好調でした。

【連結子会社】(株)テレビ東京ミュージック／(株)テレビ東京メディアネット／(株)テレビ東京コマース／(株)テレビ東京アート／(株)テレビ東京システム／(株)テレビ東京制作／(株)テレビ東京ダイレクト／(株)テレビ東京ヒューマン／(株)テクノマックス／(株)テレビ東京ビジネスサービス／(株)イー・ティー・エックス／TV TOKYO AMERICA, INC.

BS放送事業

■売上高	78億2千万円 (前年同期比+3.7%)
■営業利益	6億8千3百万円 (前年同期比-2.4%)



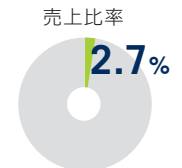
放送収入は、4月からスタートした一社提供のレギュラー番組などがタイムセールスの底上げに貢献しました。また、特別番組では『柚希礼音が躍る 魅惑のアルゼンチンタンゴ』などが好調でした。また、スポットセールスも良好に推移し、その他収入を含めた上半期売り上げは新記録を更新しました。

一方、費用面では、『日経プラス10』などのレギュラー番組の充実を図ったことによる番組制作費の増加がありました。

【連結子会社】(株)BSジャパン

インターネット・モバイル事業

■売上高	22億円 (前年同期比+14.1%)
■営業利益	1億8千7百万円 (前年同期比+29.0%)



インターネット・モバイル事業では、「ネットもテレ東キャンペーン」など動画配信事業が順調に売り上げを伸ばしたほか、Web 通販サイト「虎ノ門市場」で始めたデジタルカタログによる販売が売り上げ拡大に貢献しました。また、「テレ東本舗.WEB」でのオリジナルグッズ販売やキャリアからのアプリサービス配分収入なども予定を上回る結果となりました。

【連結子会社】(株)テレビ東京コミュニケーションズ